

# プログラム

2018年9月14日 (金)

ロイヤルホール1

08:10~08:20 **開会式**

08:20~09:10 **モーニング教育講演 1**

共催：ファイザー株式会社

MS1

## JAK阻害剤の基礎と臨床

座長: 川上 純

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 先進予防医学共同専攻 リウマチ・膠原病内科学分野

演者: 森信 暁雄

神戸大学大学院医学研究科 内科学講座 免疫内科学部門

09:20~10:50

## シンポジウム1:

### IgG4関連疾患のバイオマーカーと治療ターゲットの開発

座長: 三森 経世 京都大学大学院医学研究科 臨床免疫学

梅原 久範 市立長浜病院リウマチ膠原病内科

S1-1

#### 自己免疫性膵炎の自己抗原同定に関する研究

塩川 雅広

京都大学消化器内科

S1-2

#### IgG4関連疾患の新規治療標的開発に向けたCCL18-CCR8経路の発現と機能解析

坪井 洋人、瀬川 誠司、飯塚 晃、浅島 弘充、高橋 広行、工藤 華枝、

小野 由湖、本田 文香、安部 沙織、近藤 裕也、松本 功、住田 孝之

筑波大学医学医療系内科 (膠原病・リウマチ・アレルギー)

S1-3

#### IgG4関連疾患の病態 –免疫学的アプローチ–

前原 隆<sup>1)</sup>、Hamid Mattoo<sup>2)</sup>、Emanuel Della Torre<sup>4)</sup>、森山 雅文<sup>1)</sup>、  
佐伯 敬子<sup>5)</sup>、山元 英崇<sup>6)</sup>、John Stone<sup>3)</sup>、Shiv Pillai<sup>2)</sup>、中村 誠司<sup>1)</sup>

1) 九州大学大学院歯学研究院 口腔顎顔面病態学講座 顎顔面腫瘍制御学分野、

2) Ragon Institute of MGH, MIT and Harvard、3) Massachusetts General Hospital、

4) San Raffaele Scientific Institute、5) 長岡赤十字病院 腎臓・膠原病内科、

6) 九州大学大学院医学研究院 形態機能病理学

S1-4

#### IgG4関連疾患の免疫フェノタイプと治療標的としてのフラクタルカイン

久保 智史、中山田 真吾、井上 嘉乃、田中 良哉

産業医科大学 医学部 第1内科学講座

10:50~11:40 **優秀演題発表**

座長: 田中 良哉 産業医科大学 医学部 第1内科学講座

## ST-1

### 診断後に経過観察を行ったIgG4関連疾患の転帰

松井 祥子、篠田 晃一郎、岡澤 成祐、徳井 宏太郎、高 千紘、神原 健太、  
今西 信吾、猪又 峰彦、多喜 博文、戸邊 一之

富山大学医学部内科学

## ST-2

### シェーグレン症候群 (SS) の唾液腺におけるB細胞浸潤には形質細胞様樹状細胞が重要な役割を担う

久保 智史、趙 継東、中山田 真吾、中野 和久、岩田 慈、花見 健太郎、福與 俊  
介、宮川 一平、宮崎 佑介、河邊 明男、田中 良哉

産業医科大学 医学部 第1内科学講座

## ST-3

### 原発性シェーグレン症候群患者末梢血単球活性化におけるBAFFとMMP-9の関与

吉本 桂子<sup>1,2)</sup>、鈴木 勝也<sup>1)</sup>、竹内 勤<sup>1)</sup>

1) 慶應義塾大学医学部リウマチ・膠原病内科、2) 慶應義塾大学病院臨床研究推進センター

## ST-4

### 関節リウマチ合併二次性シェーグレン症候群に対するアバタセプトの有用性

本田 文香<sup>1)</sup>、坪井 洋人<sup>1)</sup>、小野 由湖<sup>1)</sup>、安部 沙織<sup>1)</sup>、高橋 広行<sup>1)</sup>、  
中野 和久<sup>2)</sup>、田中 良哉<sup>2)</sup>、清水 俊匡<sup>3)</sup>、中村 英樹<sup>3)</sup>、川上 純<sup>3)</sup>、  
藤枝 雄一郎<sup>4)</sup>、渥美 達也<sup>4)</sup>、鈴木 康倫<sup>5)</sup>、川野 充弘<sup>5)</sup>、金子 祐子<sup>6)</sup>、  
仁科 直<sup>6)</sup>、竹内 勤<sup>6)</sup>、原岡 ひとみ<sup>7)</sup>、武井 正美<sup>7)</sup>、小笠原 倫大<sup>8)</sup>、  
田村 直人<sup>8)</sup>、高崎 芳成<sup>8)</sup>、横田 和浩<sup>9)</sup>、秋山 雄次<sup>9)</sup>、三村 俊英<sup>9)</sup>、  
村上 孝作<sup>10)</sup>、三森 経世<sup>10)</sup>、中谷 ますみ<sup>11)</sup>、大島 至郎<sup>11)</sup>、東 直人<sup>12)</sup>、  
佐野 統<sup>12)</sup>、西山 進<sup>13)</sup>、松本 功<sup>1)</sup>、住田 孝之<sup>1)</sup>

1) 筑波大学医学医療系内科 (膠原病・リウマチ・アレルギー)、2) 産業医科大学 医学部 第1内科学講座、  
3) 長崎大学病院第1内科、4) 北海道大学病院内科 (II)、5) 金沢大学附属病院リウマチ・膠原病内科、  
6) 慶應義塾大学病院リウマチ内科、7) 日本大学医学部附属板橋病院血液・膠原病内科、  
8) 順天堂大学医学部附属順天堂医院膠原病・リウマチ内科、9) 埼玉医科大学リウマチ膠原病科、  
10) 京都大学医学部附属病院免疫・膠原病内科、11) 国立病院機構大阪南医療センターリウマチ科、  
12) 兵庫医科大学病院リウマチ・膠原病内科、13) 倉敷成人病クリニックリウマチ科

## ST-5

### 超音波画像診断によるSS病期分類システムを加えたACR/EULAR基準修正案の策定

高木 幸則<sup>1)</sup>、中村 英樹<sup>2)</sup>、角 美佐<sup>1)</sup>、清水 俊匡<sup>2)</sup>、平井 康子<sup>2)</sup>、  
寶来 吉朗<sup>2)</sup>、高谷 亜由子<sup>2)</sup>、川上 純<sup>2)</sup>、栄田 智<sup>1)</sup>、佐々木 美穂<sup>1)</sup>、中村 卓<sup>1)</sup>

1) 長崎大学・大学院・頭頸部放射線学分野、2) 長崎大学・大学院・リウマチ・膠原病内科学分野

# プログラム

11:50~12:50 **ランチタイム教育講演 1**

共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社 / 小野薬品工業株式会社

座長: 吉田 俊治 藤田保健衛生大学医学部 リウマチ・膠原病内科学

LS1-1

原発性・二次性シェーグレン症候群と関節炎

川野 充弘、鈴木 康倫

金沢大学附属病院 リウマチ・膠原病内科

LS1-2

シェーグレン症候群 vs IgG4関連疾患 -似て非なる病-

住田 孝之

筑波大学医学医療系内科 (膠原病・リウマチ・アレルギー)

13:00~13:30 **総会**

13:30~14:00 **学会賞受賞講演**

座長: 竹内 勤 慶應義塾大学 医学部 リウマチ・膠原病内科

14:10~15:00 **ティータイム教育講演 1**

共催：中外製薬株式会社

座長: 三森 経世 京都大学大学院医学研究科 臨床免疫学

TT1-1

大型血管炎の病態とIL-6の役割

中山田 真吾、田中 良哉

産業医科大学 医学部 第1内科学講座

TT1-2

本邦の大型血管炎診療の現状

土橋 浩章

香川大学医学部 血液・免疫・呼吸器内科

15:00~15:50 **特別講演 1**

座長: 富板 美奈子 千葉県こども病院 アレルギー・膠原病科

SP1

小児のシェーグレン症候群と診断基準

伊藤 保彦

日本医科大学 小児科

15:50~17:20 シンポジウム 2: シェーグレン症候群の治療の新展開

座長: 川上 純 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 先進予防医学共同専攻 リウマチ・膠原病内科学分野  
佐野 統 京都岡本記念病院 / 兵庫医科大学

S2-1

シェーグレン症候群の治療: オーバービュー

中村 英樹

長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 先進予防医学共同専攻 リウマチ・膠原病内科

S2-2

シェーグレン症候群におけるゲノム解析からの治療標的の探索

高地 雄太

理化学研究所生命医科学研究センター 自己免疫疾患研究チーム

S2-3

BAFFシグナルを標的とした低分子化合物を用いたシェーグレン症候群治療薬創製への試み

吉本 桂子<sup>1,2)</sup>、鈴木 勝也<sup>1)</sup>、関 則靖<sup>3)</sup>、菅原 邦夫<sup>3)</sup>、千葉 健治<sup>3)</sup>、竹内 勤<sup>1)</sup>

1) 慶應義塾大学医学部リウマチ・膠原病内科、2) 慶應義塾大学病院臨床研究推進センター、  
3) 田辺三菱製薬株式会社 免疫炎症創薬ユニット

S2-4

「シェーグレン症候群の治療の新展開」ドライアイの治療と展望

小川 葉子

慶應義塾大学医学部 眼科学教室

S2-5

シェーグレン症候群に対する細胞治療薬開発の取り組み

住田 吉慶

長崎大学生命医科学域 硬組織疾患基盤研究センター

17:30~18:30 特別講演 2 共催: あゆみ製薬株式会社

座長: 田中 良哉 産業医科大学 医学部 第1内科学講座

SP2

自己免疫疾患治療に新風を吹き込む

竹内 勤

慶應義塾大学 医学部 リウマチ・膠原病内科

2018年9月14日（金）

ダイヤモンド

18：40～19：40 ポスターセッション：IgG4関連疾患

座長：川野 充弘 金沢大学附属病院 リウマチ・膠原病内科

1-1

### IgG4関連疾患におけるFDG-PET/CTの画像所見の特徴

亀田 智広<sup>1)</sup>、尾崎 洋基<sup>2)</sup>、中島 崇作<sup>1)</sup>、島田 裕美<sup>1)</sup>、脇谷 理沙<sup>1)</sup>、  
加藤 幹也<sup>1)</sup>、宮城 太一<sup>1)</sup>、門脇 則光<sup>1)</sup>、土橋 浩章<sup>1)</sup>

1) 香川大学 医学部 血液・免疫・呼吸器内科、2) 国家公務員共済組合連合会KKR高松病院

1-2

### 低補体血症を伴うIgG4関連疾患の臨床的検討

藤田 雄也<sup>1)</sup>、福井 翔一<sup>2)</sup>、古谷 牧子<sup>1)</sup>、浅野 智之<sup>1)</sup>、佐藤 秀三<sup>1)</sup>、  
小林 浩子<sup>1)</sup>、中島 好一<sup>3)</sup>、鈴木 貴久<sup>4)</sup>、寶來 吉郎<sup>5)</sup>、荒巻 俊幸<sup>6)</sup>、  
折口 智樹<sup>2)</sup>、川上 純<sup>2)</sup>、渡辺 浩志<sup>1)</sup>、右田 清志<sup>1)</sup>

1) 福島県立医科大学医学部 リウマチ膠原病内科学講座、  
2) 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 先進予防医学共同専攻リウマチ・膠原病内科学分野、  
3) 地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター、4) 日本赤十字社 長崎原爆病院、  
5) 独立行政法人 国立病院機構 長崎医療センター、6) 社会医療法人財団白十字会 佐世保中央病院

1-3

### 抗SS-A抗体陰性/抗SS-B抗体陽性シェーグレン症候群を合併したIgG4関連疾患の1例

寶來 吉郎<sup>1,3)</sup>、和泉 泰衛<sup>4)</sup>、道辻 徹<sup>4)</sup>、岩永 希<sup>1)</sup>、中島 好一<sup>5)</sup>、中村 英樹<sup>3)</sup>、  
伊東 正博<sup>6)</sup>、川上 純<sup>3)</sup>

1) 国立病院機構長崎医療センター リウマチ科、2) 国立病院機構長崎医療センター 臨床研究センター、  
3) 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 先進予防医学講座リウマチ・膠原病内科学分野、  
4) 国立病院機構長崎医療センター 総合診療科、5) 佐世保市総合医療センター リウマチ・膠原病内科、  
6) 国立病院機構長崎医療センター 病理診断科

1-4

### 鼻粘膜および副鼻腔病変を来したIgG4関連疾患の5例

上野 匡庸、中野 和久、宮川 一平、中山田 真吾、岩田 慈、福與 俊介、  
久保 智史、河邊 明男、宮崎 佑介、田中 良哉

産業医科大学 第1内科学講座

1-5

### IgG4関連腎症（IgG4-RKD）の併存が疑われた好酸球性多発血管炎性肉芽腫症（EGPA）の1例

神田 龍一郎、中野 和久、久保 智史、中山田 真吾、岩田 慈、花見 健太郎、  
福與 俊介、宮川 一平、河邊 明男、宮崎 佑介、名和田 彩、田中 良哉

産業医科大学 医学部 第1内科学講座

## ポスターセッション：シェーグレン症候群 基礎 1

座長: 有信 洋二郎 九州大学医学部 第一内科

### 2-1

#### シェーグレン症候群患者のCD4陽性T細胞におけるNR4A2発現亢進とTh17分化

高橋 広行、坪井 洋人、小野 由湖、工藤 華枝、本田 文香、安部 沙織、  
近藤 裕也、松本 功、住田 孝之

筑波大学 医学医療系内科 (膠原病・リウマチ・アレルギー)

### 2-2

#### 原発性シェーグレン症候群患者末梢血CD38<sup>high</sup> IgD<sup>+</sup> B細胞のIgG産生への関与

武井 江梨子、吉本 桂子、鈴木 勝也、安岡 秀剛、山岡 邦宏、竹内 勤

慶應義塾大学 医学部 リウマチ・膠原病内科

### 2-3

#### シェーグレン症候群唾液腺におけるToll-like receptor7-9の発現と機能について

清水 俊匡<sup>1)</sup>、中村 英樹<sup>1)</sup>、高谷 亜由子<sup>1)</sup>、梅田 雅孝<sup>1)</sup>、寶来 吉朗<sup>2)</sup>、  
來留島 章太<sup>3)</sup>、道辻 徹<sup>4)</sup>、中島 好一<sup>5)</sup>、川上 純<sup>1)</sup>

1) 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科先進予防医学共同専攻リウマチ・膠原病内科、  
2) 長崎医療センター 臨床研究センター、3) 佐世保中央病院 リウマチ膠原病センター、  
4) 長崎医療センター 総合診療科、5) 佐世保市総合医療センター リウマチ膠原病内科

### 2-4

#### 原発性シェーグレン症候群における関節リウマチ発症予測マーカーの検討

五十嵐 都志子<sup>1)</sup>、島村 裕子<sup>1)</sup>、河原 啓二<sup>1)</sup>、真柴 新一<sup>1)</sup>、江副 純<sup>1)</sup>、  
久川 聡<sup>1)</sup>、宮地 清光<sup>2)</sup>

1) 株式会社保健科学研究所、2) 医療法人社団 慶進会 慶宮医院

### 2-5

#### シェーグレン症候群におけるマルチオミックス解析を用いた病態解明の現状と課題

鈴木 勝也、竹内 勤

慶應義塾大学

## ポスターセッション：シェーグレン症候群 基礎 2

座長: 中山田 真吾 産業医科大学医学部 第1内科学講座

### 2-6

#### シェーグレン症候群疾患モデルの自己免疫病変における濾胞ヘルパーT細胞の役割

大塚 邦紘<sup>1)</sup>、山田 安希子<sup>1)</sup>、齋藤 雅子<sup>2)</sup>、牛尾 綾<sup>1)</sup>、木曾田 暁<sup>1)</sup>、  
常松 貴明<sup>3)</sup>、新垣 理恵子<sup>1)</sup>、工藤 保誠<sup>1)</sup>、石丸 直澄<sup>1)</sup>

1) 徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔分子病態学分野、2) 徳島大学大学院医歯薬学研究部人類遺伝学分野、  
3) 徳島大学大学院医歯薬学研究部疾患病理学分野

## 2-7

### シェーグレン症候群におけるM3R反応性Th1細胞由来T-iPSを応用した治療戦略II

瀬川 誠司<sup>1)</sup>、高橋 広行<sup>1)</sup>、浅島 弘充<sup>1)</sup>、飯塚 麻菜<sup>1)</sup>、安部 沙織<sup>1)</sup>、  
工藤 華枝<sup>1)</sup>、小野 由湖<sup>1)</sup>、本田 文香<sup>1)</sup>、安藤 美樹<sup>2,3)</sup>、坪井 洋人<sup>1)</sup>、  
松本 功<sup>1)</sup>、大津 真<sup>2)</sup>、住田 孝之<sup>1)</sup>

- 1) 筑波大学医学医療系内科（膠原病・リウマチ・アレルギー）、
- 2) 東京大学医科学研究所幹細胞治療研究センター、
- 3) 順天堂大学医学部大学院医学研究科 輸血・幹細胞制御学

## 2-8

### M3R誘導性唾液腺炎に対するaltered peptide ligand発現米の抑制効果とメカニズム

工藤 華枝<sup>1)</sup>、坪井 洋人<sup>1)</sup>、浅島 弘充<sup>1)</sup>、高橋 広行<sup>1)</sup>、小野 由湖<sup>1)</sup>、  
安部 沙織<sup>1)</sup>、本田 文香<sup>1)</sup>、藏田 泉<sup>1)</sup>、柳下 瑞希<sup>1)</sup>、横澤 将宏<sup>1)</sup>、  
近藤 裕也<sup>1)</sup>、若佐 雄也<sup>2)</sup>、高岩 文雄<sup>2)</sup>、松本 功<sup>1)</sup>、住田 孝之<sup>1)</sup>

- 1) 筑波大学医学医療系内科（膠原病・リウマチ・アレルギー）、2) 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 生物機能利用研究部門 新産業開拓研究領域 有用物質生産作物開発ユニット

## 2-9

### ROR $\gamma$ tトランスジェニックマウスに自然発症する唾液腺炎に対するROR $\gamma$ t アンタゴニストの治療戦略

小野 由湖<sup>1,2)</sup>、坪井 洋人<sup>1)</sup>、森山 雅文<sup>2,3)</sup>、浅島 弘充<sup>1)</sup>、工藤 華枝<sup>1)</sup>、  
本田 文香<sup>1)</sup>、安部 沙織<sup>1)</sup>、高橋 広行<sup>1)</sup>、近藤 裕也<sup>1)</sup>、松本 功<sup>1)</sup>、  
中村 誠司<sup>2)</sup>、住田 孝之<sup>1)</sup>

- 1) 筑波大学医療系内科（膠原病・リウマチ・アレルギー）、
- 2) 九州大学大学院歯学研究院 口腔顎顔面病態学講座 顎顔面腫瘍制御学分野、
- 3) 九州大学大学院歯学研究院OBT研究センター

## ポスターセッション：シェーグレン症候群 基礎 3

座長: 吉本 桂子 慶應義塾大学 医学部リウマチ・膠原病内科

## 2-10

### 慢性移植片対宿主病マウスモデルの涙腺におけるVAMP8発現の低下

福井 正樹<sup>1)</sup>、小川 葉子<sup>1)</sup>、向井 慎<sup>1)</sup>、鴨居 瑞加<sup>1)</sup>、安里 輝<sup>1)</sup>、河上 裕<sup>2)</sup>、  
坪田 一男<sup>1)</sup>

- 1) 慶應義塾大学医学部眼科学教室、2) 慶應義塾大学医学部先端医科学研究所

## 2-11

### CCL22産生唾液腺マクロファージはシェーグレン症候群の病態に關与する

牛尾 綾、新垣 理恵子、大塚 邦紘、山田 安希子、工藤 保誠、石丸 直澄

徳島大学大学院 医歯薬学研究部 口腔分子病態学分野

2-12

## シェーグレン症候群の新しい動物モデル

田中 ゆり子<sup>1)</sup>、井上 彰子<sup>2)</sup>、近藤 元就<sup>1)</sup>

1) 東邦大学医学部免疫学講座、2) 東邦大学医学部耳鼻咽喉科学講座

2-13

## HTLV-Iの唾液腺上皮細胞への初期感染様式の検討

中村 英樹、高谷 亜由子、清水 俊匡、川上 純

長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 先進予防医学共同専攻 リウマチ・膠原病内科

2-14

## 小児期シェーグレン症候群患者に対する移行支援ガイドの作成

井上 祐三朗<sup>1)</sup>、岩田 直美<sup>2)</sup>、小林 一郎<sup>3)</sup>、檜崎 秀彦<sup>4)</sup>、西山 進<sup>5)</sup>、  
野澤 智<sup>6)</sup>、野中 由希子<sup>7)</sup>、冨板 美奈子<sup>8)</sup>、森 雅亮<sup>9)</sup>

1) 東千葉メディカルセンター小児科、2) あいち小児保健医療総合センター感染・免疫科、  
3) K K R札幌医療センター小児・アレルギーリウマチセンター、  
4) 日本医科大学大学院医学研究科小児・思春期医学、5) 倉敷成人病センターリウマチ科、  
6) 横浜市立大学大学院医学研究科発生成育小児医療学、7) 鹿児島大学病院小児診療センター小児科、  
8) 千葉県こども病院アレルギー・膠原病科、9) 東京医科歯科大学生涯免疫難病学講座